

間伐材の地産地消で町の人に森林を知ってもらおう

森林文化アカデミー 森と木のエンジニア科 林産業コース 近藤義紘

『おやまのコンロ』



引用先：納古山の最新登山情報/YAMAP
納古山(七宗町の観光地)
町から見上げる山の景色



実際のコンロを再現するために
つまみが動くように設計

『清流積み木』



引用先：Ameba/ひなた日和
神湊川(七宗町に流れる川)の石



引用先：岐阜の旅ガイド
飛水峡の甑穴群(天然記念物)

→直径20mmのくぼみを製作
大きさを変えたくぼみの追加製作
を検討中

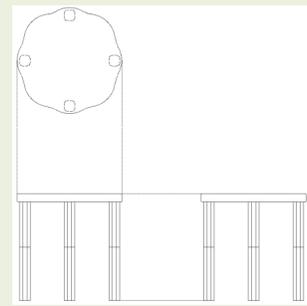


飛騨川(七宗町に流れる川)

『キッズテーブル・キッズチェア』

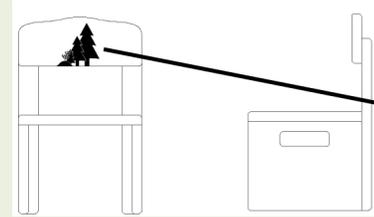
→現在製作中(2月末までに完成予定)

『キッズテーブル』 = 乳児用机



上のイラストのような
シンプルな木をイメージ
→子供にもわかるように

『キッズチェア』 = 乳児用椅子



背もたれにレーザー加工

「子供と木の成長を重ね合わせて
子供と同じように木を大切にしてほしい」
という願いを込めている

1.研究背景

- ・地元七宗町を囲む森林資源がどのように使われているのか興味を持った
- ・地元の木を使って地元で使えるものを作りたかった(地域材利用)

2.七宗町の森の現状

町内の9割をスギやヒノキの山林が占め、**搬出が困難な地形のため**、ほとんどの山林が切り捨て間伐

- ・**景観**が悪くなる
- ・**植物の再生が抑制**される などデメリットが多い

間伐材を有効活用し少しでも**放置木**を失くしてほしい(町の願い)

3.間伐材を有効活用するには...

この課題をより多くの人に伝えるにはどうしたらよいか
周囲の人が森林についてどう感じているかを知りたい

町の施設に**木製品**を寄贈しよう
子供も触れられると良い

保育園におもちゃを寄贈

人が集まる学園祭にておもちゃを展示

園児の保護者と学園祭の来客者にアンケートを実施する

4.保育園視察 町内にある2か所の保育園に訪問



牛乳パックで作った
椅子を使用中
もっとしっかりとした
机と椅子が欲しい



既存の台に合う
持ち運び可能な
コンロが欲しい

今使っているおままごと
コンロでは五徳が狭いため
使いづらい

保育園の現状を確認
園長さんや保育士さんの意見を参考に
それぞれの保育園が求めるものを設計
第一保育園：コンロ、乳児用机・椅子
第二保育園：積み木

5.材の調達→製材

可茂森林組合さんにご協力いただき、ヒノキの間伐材を調達し製材



6.製作の様子



大きめの大きさに切る



厚み、幅等を調整



組み立て

7.学園祭での様子

最初の目的である子供が木に触れる機会を作りたい
森林の状況をより多くの人に知ってもらいたい
今後の活動のため地域材利用についてどう感じているのか知りたい

学園祭(学園祭)にて展示・アンケート実施



8.アンケートの結果 59人に回答いただきました

「地域材利用についてどう思うか」を質問
回答から浮かんだ利点・欠点は...

利点
愛着が生まれる
地域に利益還元
地元を知る機会

地域にとって有益、
無駄にはならない

欠点
伝える人が少ない
経済性が低い
労力と合わない

「森林の現状の伝え方」と
「経済性」が課題

多くの人の協力が必要不可欠

9.寄贈の様子

完成したものを七宗町 教育委員会 教育長さんにお渡しいたしました



10.まとめ

- ・今回の地産地消の取り組みやアンケートを通して、町の人だけでなくより多くの人に森林や木のことが伝えられた
- ・切り捨て間伐の材を有効に活用できる可能性を示し、地域活性の手助けとなる活動ができた

七宗町の森林の現状がより多くの人に
伝えていけるよう努力を続けていきたい